

# 令和4年度（2022年度）宗谷管内高等学校教育研究会 教務部会研究協議会

12月6日（火）、宗谷合同庁舎において、宗谷管内高等学校教育研究会教務部会研究協議会が行われました。宗谷管内高等学校の教務担当者10名が参加し、ICT機器を活用した授業実践や観点別学習状況の評価についての発表や講義、研究協議を通して、各高等学校における教育活動全般の改善・充実に努めました。

協議会の時程、研究発表及び講義の概要について紹介します。

日時：令和4年12月6日（火）

会場：宗谷合同庁舎

当番校：北海道浜頓別高等学校

時程：13:00～ 開会式

13:15～ 研究発表

14:20～ 研究協議①

学習評価を推進する上で各学校が抱えている諸課題について

14:35～ 講義

15:00～ 研究協議②

観点別学習状況の評価の活用について

15:45～ 閉会式

## 研究発表について

- 発表者：北海道礼文高等学校教諭  
秦 利幸
- 発表題：多様な生徒事情に対応するためのICT活用について

## 講義について

- 講師：宗谷教育局高等学校教育指導班主査  
加藤 洋平
- 講義題：観点別学習状況の評価を活用した教育活動の充実にに向けた取組について



研究発表の様子

ICT機器を活用した礼文高校の教育活動及び秦教諭が担当する国語の授業実践に関する発表がありました。

「ICT機器を活用して、全ての生徒に対して平等に学びの機会を提供したい。」という発表のまとめが印象的でした。

研究協議の様子

- ・観点別評価によって、生徒の変容を多面的に捉えることができたようになった。
- ・生徒の資質・能力を育む指導や、生徒の変容を計るためのパフォーマンステストについて考える時間が増えた。この時間が楽しい。（協議における参加者の声から一部抜粋）



閉会式において、当番校の三井校長から「生徒の『主体的に学習に取り組む態度』の評価は、『知識・技能』及び『思考・判断・表現』の観点の状況を踏まえて行われることに留意したい。協議内容を、各学校における妥当性・信頼性の高い学習評価の推進につなげてほしい」というまとめがありました。今後も様々な情報を共有し、宗谷管内高等学校の「横のつながり」を大切にして、各校における教育活動を推進してください。（高等学校教育指導班 加藤洋平）